

事業の基礎情報

実施主体	小清水町地域公共交通活性化協議会実証事業分科会
事業実施地域	小清水町全域
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	商業・農業 ・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	小清水町地域公共交通活性化協議会 ・ 網走バス(株) ・ (株)網走ハイヤー ・ サツドラホールディングス(株) ・ (株)リージョナルマーケティング ・ (株)イーベース・ソリューションズ ・ (株)未来シェア ・ (株)ヌースフィアデザイン ・ (株)シン技術コンサル ・ 北海道経済連合会
運行形態	住民ドライバーによる事業者協力型自家用有償運送実証事業
運行主体	小清水町

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

地域課題である運転手の担い手不足を解消するため、事業者協力型自家用有償旅客制度を活用し、住民自らで地域交通を支える新しい地域交通サービスを「交通」×「住民」×「DX」×「買い物」×「観光」の連携により持続可能なサービスを実証することで今後の過疎地域の交通モデルの確立を目指す。

(事業の概要)

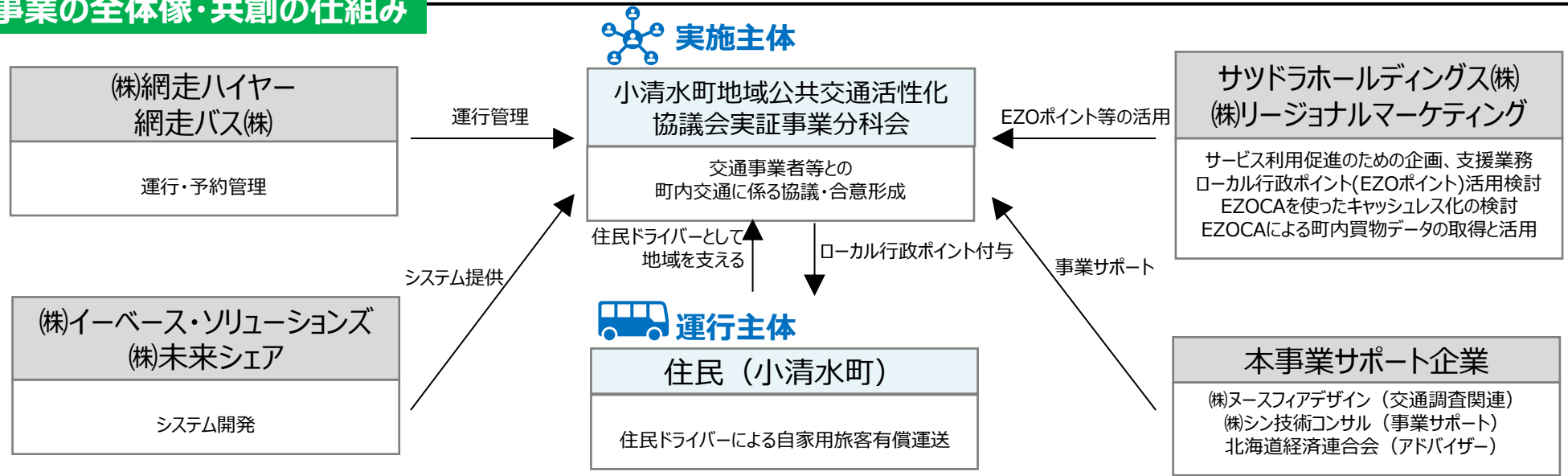
町内交通であるタクシー事業者と協力し、住民がドライバーとして自家用車で運行する新しい地域交通サービスを実証するが、本事業は住民ドライバーの協力が不可欠であることから、運用に伴う制約を極力抑えた「住民ドライバーファースト」を掲げ、デジタルを活用することで課題解決を図る。さらには地域のポイントカードとして普及している「小清水EZOCA（普及率86%※人口比）」を活用し、利用者や住民ドライバーに対するローカル行政ポイント付与による本事業の利用促進、並びに町内商工事業者でのポイントの利用による事業者の活性化、還元の仕組みの構築を目指す。

地域資源を活用し住民自ら地域を支える新しい地域交通サービス実証事業

応募様式A

小清水町地域公共交通活性化協議会実証事業分科会

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

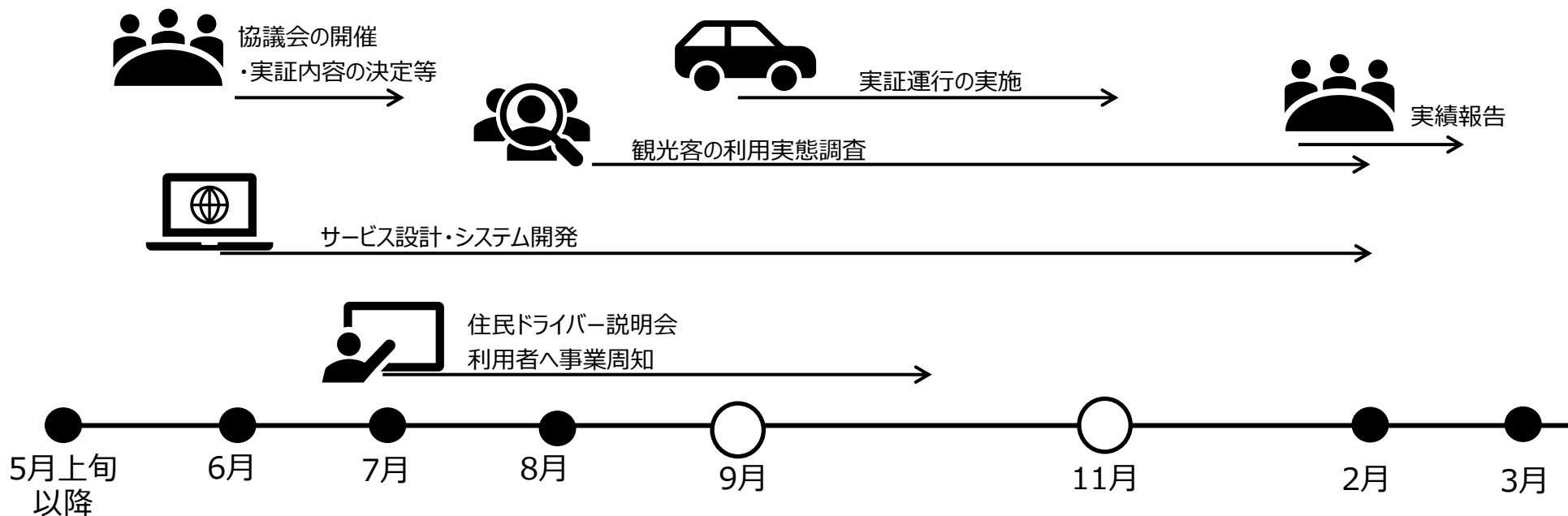
○デジタルの力を使って省人化できるよう本町のDX推進を担う(株)イーベースソリューションズがシステム開発を行う。
○地域交通の充実によるさらなる地域経済の活性化に向け、町民の約86%が保有する“小清水EZOCA”を活用し、ローカル行政ポイント付与等により、町内商工事業者に還元される仕組みの構築を目指す。

(実証事業により見込まれる効果)

高齢化率の高い過疎地域における地域交通は、ドアツードアが可能なタクシーが担うことが多いが、運転手の高齢化による担い手不足が深刻化している。本実証は担い手不足に直接的にアプローチできるものであり、交通事業者と協力することで安全性の向上が期待できるとともに、汎用性の高いシステム開発を行うことで、過疎地域における一つの交通実証モデルとして確立できると考えている。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

○本補助事業実施の次年度（2年目）

1年目の実証運行結果における課題を改善するとともに、1年目の観光客の利用実態調査から導き出した観光客向けの新しい交通サービス実証を合わせて8月～10月に行う。

キャッシュレス化に向け、EZOCA関連APIとの連携による実装を検討する。

○本補助事業実施の翌々年度（3年目）

2年目の実証運行結果における課題を改善するとともに、デジタル弱者へのきめ細かなサポートを行うことで、省人化に取り組み、また引き続きキャッシュレス化を推進し、新しい地域交通サービス実証運行を行う。